

年間指導計画例と評価の観点

高等学校学習指導要領抜粋

【芸術科の目標】

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

【音楽 I の目標】

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

◆内容

【A】表現

表現に関して、次の事項を指導する。

(1) 歌唱

ア 曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって歌うこと。

イ 曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。

ウ 様々な表現形態による歌唱の特徴を生かし、表現を工夫して歌うこと。

エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて歌うこと。

(2) 器楽

ア 曲想を楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって演奏すること。

イ 楽器の音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫

して演奏すること。

ウ 様々な表現形態による器楽の特徴を生かし、表現を工夫して演奏すること。

エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて演奏すること。

(3) 創作

ア 音階を選んで旋律をつくり、その旋律に副次的な旋律や和音などを付けて、イメージをもって音楽をつくること。

イ 音楽素材の特徴を生かし、反復、変化、対照などの構成を工夫して、イメージをもって音楽をつくること。

ウ 音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、イメージをもって変奏や編曲をすること。

エ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて音楽をつくること。

【B】鑑賞

鑑賞に関して、次の事項を指導する。

ア 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とのかかわりを感じ取って鑑賞すること。

イ 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じて鑑賞すること。

ウ 楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解して鑑賞すること。

エ 我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特色を理解して鑑賞すること。

(音楽を形づくっている要素…音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など)

◆内容の取扱い

(1) 内容のA及びBの指導に当たっては、中学校音楽科との関連を十分に考慮し、それぞれ特定の活動のみに偏らないようにするとともに、A及びB相互の関連を図るものとする。

(2) 生徒の特性等を考慮し、内容のAの(3)のア、イ又はウのうち一つ以上を選択して扱うことがで

きる。

(3) 内容のAの指導に当たっては、生徒の特性等を考慮し、視唱と視奏及び読譜と記譜の指導を含めるものとする。

(4) 内容のAの指導に当たっては、我が国の伝統的な歌唱及び和楽器を含めて扱うようにする。また、内容のBの工との関連を図るよう配慮するものとする。

(5) 内容のAの(3)の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成することを重視するとともに、作品を記録する方法を工夫させるものとする。

(6) 内容のBの指導に当たっては、楽曲や演奏について根拠をもって批評する活動などを取り入れるようにする。

(7) 内容のA及びBの教材については、地域や学校の実態等を考慮し、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽から幅広く扱うようにする。また、Bの教材については、アジア地域の諸民族の音楽を含めて扱うようにする。

(8) 音や音楽と生活や社会とのかかわりを考えさせ、音環境への関心を高めるよう配慮するものとする。また、音楽に関する知的財産権などについて配慮し、著作物等を尊重する態度の形成を図るようとする。

評価の観点 ※【評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(高等学校 芸術(音楽))】(平成24年7月国立教育政策研究所教育課程研究センター)による

【音楽への関心・意欲・態度】音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。

【音楽表現の創意工夫】音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。

【音楽表現の技能】創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表現している。

【鑑賞の能力】音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。

学期	題材	目標と指導内容	教材配当例 ○歌唱教材 □器楽教材 ▼創作教材 ♪鑑賞教材 ★資料・コラム等	学習指導要領との対照												内容の取扱い	評価の観点			
				【A】表現						【B】鑑賞							【関・意・態】関心・意欲・態度	【創意工夫】音楽表現の創意工夫	【技能】音楽表現の技能	【鑑賞】鑑賞の能力
				(1)歌唱	(2)器楽	(3)創作														
ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ	ア	イ	ウ	エ					
一学期 (4～7月)	青葱と音楽	歌唱や創作の諸活動を通して、歌唱技能の基本や、簡単なリズムのつくり方を学び、音楽の楽しさを味わう。 ・歌うことの楽しさを感じ取らせる ・呼吸法、口形、共鳴など発声の基本を学習する ・読譜力の伸張を図る ・ポピュラー音楽の概要を学習する ・言葉を生かしたメロディーをつくる	○翼をください ○花は咲く ○春への憧れ ○少年時代 ○風になろう ▼自分の音楽をつくらう ★楽譜を知ろう ★音楽は守られている ★声の不思議を探る ★ポピュラー音楽	●●●●														(2) (3) (8)	【関・意・態】 ・歌唱することに喜びを感じ、正確な読譜や適切な発声に努めることに主体的に取り組んでいる。 ・言葉のリズムや抑揚に関心をもち、意欲的にメロディーを創作している。 【創意工夫】 ・楽譜を見て音程、リズム、テンポ、表情等を把握し、しっかりと発声で、より楽しく歌唱する表現の工夫をしている。 【技能】 ・言葉のリズムや抑揚の特徴や雰囲気を知覚し、それを表現に生かそうとしている。 ・しっかりと発声で、楽譜に書かれた情報を把握し表現する技能を身に付けている。 ・言葉のリズムや抑揚を生かして創作する技能を身に付けている。	
	日本の音楽(1)	歌唱・器楽・鑑賞の諸活動を通して、日本の様々な音楽に触れ、その良さや美しさを感じ取る。 ・曲種に応じた発声の特徴を生かし、表現を工夫して歌う ・声や楽器の音色の特徴と表現上の効果を感じ取って鑑賞する ・我が国や郷土の伝統音楽の種類と特徴を理解して鑑賞する	○小さな空 ○風の子守歌 ○ソーラン節 ○南部牛追歌 ♪弦楽のためのレクイエム ♪みだれ ♪チンチリレンの合方 ♪鹿の遠音 ♪伊勢の海 ♪黒御簾音楽 ♪郷土の伝統音楽 ★日本音楽史 ★音楽史年表 ★楽典の手引き ★主要音楽用語	●●●●	●●●●														(1) (4) (6) (7)	【関・意・態】 ・曲想と歌詞の内容や文化的背景、及び民謡の発声の特徴に関心をもち、イメージをもって歌唱しようとしている。 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらのつくり出す雰囲気を歌詞の内容や文化的背景と関連付けながら、発声の特徴を生かして表現しようと工夫している。 【技能】 ・曲想をイメージをもって表現するために必要な発声を含めた技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感知し、我が国や郷土の音楽の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。
	人間と音楽	歌唱や鑑賞を通して様々な合唱音楽を体験し、その表現方法や良さを味わう。 ・簡単な輪唱や様々な形態の合唱をする ・中世ルネサンスの音楽の鑑賞	○夏の思い出 ○フィンランディア ○So ben mi ch'è bon tempo ○ふるさと ♪聖母マリアの祝日のためのミサ ♪オラトリオ「メサイア」 ★音楽を聴いて感じたことを自分の言葉で書いてみよう ★西洋音楽史 ★音楽史年表	●●●●															(6) (8)	【関・意・態】 ・様々な形態の合唱もつ、それぞれの良さや持ち味に関心をもちながら歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。 ・楽曲の文化的・歴史的背景や声の音色と表現上の効果をもつて主体的に鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感じ、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関連付けながら、表現しようと工夫している。 【技能】 ・様々な表現形態による歌唱の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感知しながら、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。
二学期 (9～12月)	器楽	器楽の実習を通して楽器の表現に親しみ、技能の伸長をはかるとともに、その特長を生かした表現の良さを味わう。 ・ギター、リコーダーの基礎的な奏法の実習 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・簡単な器楽曲の創作 ・楽器の音色や奏法と楽曲の背景をとらえた鑑賞	○広い河の岸辺 □トリスダンの嘆き □愛のあいさつ □シチリアーナ ▼自分の音楽をつくらう ▼マレンジで広がる音楽の世界 ♪子供の情景 ♪カプリッチョ ♪ピアノ協奏曲第1番 ♪ヴァイオリン協奏曲 ★ギターを弾こう ★リコーダー連指表 ★ギター、キーボード、コード表 ★コードネーム ★主要音楽用語	●●●●	●●●●													(1) (2) (3) (5) (6)	【関・意・態】 ・楽器の音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・様々な方法によるメロディー創作に主体的に取り組んでいる。 【創意工夫】 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感知しながら、表現意図をもって演奏する工夫をしている。 【技能】 ・モティーフや和音の働きが生み出す雰囲気を感知取りながら、表現意図をもって創作している。 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感知しながら、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、作曲家・演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。	
	世界の音楽(2)	歌唱や鑑賞を通して、世界の音楽の種類や特徴を理解し、その良さを味わう。 ・曲種に応じた発声法の工夫 ・楽曲の背景と曲想とのかかわりを意識した表現の工夫 ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	○花まつり ○ダニー・ボーイ ○O sole mio ○Adieu ○He's got the whole world in His hands ○故郷の春 ○茉莉花 ○ラサ・サヤンゲ ○マライカ ★諸外国の音楽/アジアの音楽	●●●●														(4) (7)	【関・意・態】 ・地域や民族による発声や音楽の特徴の違いに関心をもち、意欲的に歌唱しようとしている。 【創意工夫】 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 【技能】 ・地域や民族による特徴的な音楽的要素(音階・リズム等)を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感知しながら、表現意図をもって歌唱する工夫をしている。 【鑑賞】 ・曲想をイメージをもって表現するための発声を含めた技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感知しながら、楽曲の文化的・歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。	
	劇音楽	劇や物語と音楽の結びつきを理解し、イメージをもって表現したり鑑賞したりする。 ・楽曲の背景を意識した表現の工夫や鑑賞 ・劇や物語と音楽とのかかわりを意識した表現の工夫や創造的な鑑賞 ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	○I Could Have Danced All Night ○Climb Ev'ry Mountain ○Tonight ○ホール・ニュー・ワールド ○星に願いを ○Oh Happy Day □「アナと雪の女王」メドレー ♪オペラ「カルメン」 ★ミュージカル ★楽典の手引き ★主要音楽用語	●●●●	●●●●														(6) (8)	【関・意・態】 ・劇や物語と音楽のかかわりに関心をもち、意欲的に歌唱したり、演奏したり、鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感知しながら、表現意図をもって歌唱する工夫をしている。 【技能】 ・曲想をイメージをもって表現するための技能を身に付けている。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感知しながら、作曲家・演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、良さと美しさを味わっている。
三学期 (1～3月)	楽しもう(アンサンブル)	声や楽器を組み合わせて演奏したり、様々な音楽素材を用いた創作を通して、それらに必要な技能を身に付けイメージをもって表現する。 ・声や楽器の音色、奏法、それらの組み合わせを生かしたアンサンブル活動 ・様々な音楽素材による音楽づくり ・文化的・歴史的背景に基づく楽曲の鑑賞	○Football Canon ○野菜の気持ち □Beat Canon □あゝ人生に涙あり ▼音楽素材を生かしてつくらう ♪弦楽四重奏「アメリカ」 ♪管弦楽組曲第2番 ♪魔法使いの弟子 ★リズムの楽しさ ★作曲家年表 ★西洋音楽史 ★音楽史年表	●●●●	●●●●													(1) (2) (3) (5) (8)	【関・意・態】 ・楽器の音色や奏法および、それらの組み合わせの面白さに関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 ・声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的・歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感知しながら、表現意図をもって演奏する工夫をしている。 【技能】 ・音楽素材の特徴を生かして、反復、変化、対照などの構成を考え、表現したい音楽をイメージし、表現を工夫して音楽を作ろうとしている。 【鑑賞】 ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。 ・音楽素材の特徴、反復、変化、対照などの構成を工夫した音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 ・音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と、歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。	
	独唱(芸術と音楽(2))	歌詞の内容や楽曲の背景を研究し、必要な技能を身に付け、イメージをもって表現したり、楽曲の価値を感じ取る。 ・芸術的な音楽表現のための発声や発語の工夫 ・歌詞の内容や楽曲の背景を十分に研究した音楽表現の工夫 ・芸術歌曲の鑑賞と批評	○Heidenröslein (シューベルト) ○Heidenröslein (ヴェルナー) ○喜びの歌 ○Ombra mai fù ○Caro mio ben ♪歌曲集「美しき水車屋の娘」 ★作曲家年表 ★西洋音楽史 ★音楽史年表	●●●●														(1) (3) (6)	【関・意・態】 ・曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心をもち、イメージをもって歌唱したり、鑑賞しようとしている。 【創意工夫】 ・音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感知しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、音楽表現を工夫している。 【技能】 ・曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、発語、読譜等を身に付け、創造的に表現している。 【鑑賞】 ・音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気と、歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。	